

Worldwide Friendship

第22回

国際ふれあいパーティー開催



ペルーダンス「マリネラ」



アンデスの踊り



ブラジル人学校EASヘージ・ピタゴラス生徒の歌



太田市八木節連合会



上州ろう太鼓心響

今回で22回目となった国際ふれあいパーティーを平成25年12月8日(日)に開催しました。当日は22カ国300人もの来場があり、上州ろう太鼓心響の迫力ある和太鼓をはじめとするさまざまな歌やダンスが披露されました。また、ブラジルの子どもたちによる歌とダンス、リズムカルな曲にあわせた華麗なペルー舞踊なども紹介され、最後には来場者と一緒に八木節を踊り、さまざまな国の人との交流を楽しみました。

HEAD LINE

- 第22回国際ふれあいパーティー開催 **1**
- 第17回外国人日本語スピーチコンテスト開催 **2**
- 第17回外国人日本語スピーチコンテスト(最優秀賞) **3**
- ザ・フレンドシップフォース・オブ・太田・群馬がブラジル、クリチクラブ受入
インディアナ州児童絵画交流
太田日本語教室あゆみの会受講生「世界の料理教室」 **4**
- 初級ポルトガル語講座開催
初級スペイン語講座開催
初級韓国語講座開催 **5**
- 初級日本語ボランティア講師研修講座開催
デイリー・イングリッシュ講座開催
虹の会が群馬県から表彰 **6**
- パラレロ学校でブラジル移動領事館を開催
ブラジル・リンス市長が太田市長を表敬訪問
国際姉妹都市バーバンク市姉妹都市提携30周年記念事業の予告 **7**
- Voice to Voice **8**

第17回外国人日本語スピーチコンテスト開催



優秀賞
ようほう
楊 峰
(中国出身)
「積極的な態度で頑張りました」



優秀賞
こばやし まき
小林アマンダ真喜
(ブラジル出身)
「くつのマナー」

平成26年2月23日(日)、太田市学習文化センター視聴覚ホールにて外国人スピーチコンテストを開催しました。共催は太田中央ライオンズクラブ、後援は太田商工会議所、国際ソロプチミスト太田、太田ユネスコ協会、群馬県観光物産国際協会及び上毛新聞社で、今年で17回目を迎えた今大会には、5ヶ国13人の外国人市民が参加し、日本での生活を通じて感じたことや、話したいこと、聞いて欲しいことなどについて熱弁を振りました。日頃の日本語の学習成果を披露する場でもある当コンテストでのスピーチは、皆素晴らしいものばかりで、訪れた来場者の皆さんも、日本語の堪能さばかりでなく、スピーチの内容についても、感心して耳を傾けていました。

また、アトラクションとして、Perú Corazón (ペルーコラソン) によるマリネラなどのペルーダンスが披露され、来場者の方から拍手喝采を浴びていました。



ペルーダンス「マリネラ」

第17回外国人日本語スピーチコンテスト 最優秀賞

今回、最優秀賞を受賞したのは、中国出身の王京（おうきょう）さんでした。スピーチタイトルは『最近感動したこと』で、日常生活ではなかなか気づくことのない"気配り"に着目したことが審査員の高い評価を得ました。王京さんは、関東学園大学に通う留学生で来日して3年目です。

「最近感動した事」

「感動」という言葉の意味やイメージは、皆さんそれぞれで違ったものになると思います。私にとって感動とは、あるできごとが自分の心に深く印象に残っているという感情だと思っています。

たとえば、自分がよくテレビで見たスポーツ選手たちが金メダルを決めた時、自分も感動して、涙が出たり、また地震があった地方へボランティアに行った人たちの行動に感動して、涙が出たこともありました。

私は日本に来て、そろそろ3年になります。ここで勉強やアルバイトをしてきました。日本の人々とコミュニケーションをしながら、日本の文化も深く理解しました。

日本の人の気持ちや人の接し方なども勉強しました。日本と中国の人々の考え方は違いますが、最近、ある出来事にすごく感動しました。

先々週の金曜日の夕方から雪が降りました。翌朝、起きた時に、地面は全部雪に隠れていました。真っ白でした。私はその時、これからアルバイトがある事を思い出したので、すぐ出かける支度をして家を出ました。テレビで13年ぶりの大雪と放送されていたように、地面まで凍っていました。自分は歩いて行ったので、結構つらかったのですが、不注意で転んでしまい、泥だらけになってしまいました。ちょうどその時通りかかった小学生に、「ほら、見て、バットマンがいるよ」と笑われました。その時、そんなに笑われたことは、人生最大の屈辱だと思いました。すごく気を落としました。普通の事なら、納得できますが、あんな事で笑われて、ほんとに中国に戻りたかったです。やはり、日中の考え方は違うなあと思っていたら、知らないお爺さんが来ました。すると、「あなた、大丈夫、気をつけて」と言ってくれました。その時、心に熱いものを感じました。あの時、自分の知り合い以外の方が自分の事に気をくばってくれている人がいたなんて、意外でした。自分はその時すごく感動しました。この世界で優しい人が多かった事がわかりました。他人にとっては、これは普通のことかもしれませんが、私にとっては、すごく感動した事です。

感動はただの一つの言葉です。人々はこの言葉の意味に対して理解も違います。ある事により批判された人もいるし、ある事により褒められた人もいます。でも、これはすべての人たちにとっては、一生の思い出、一生の感動になるかもしれません。私にとっては、感動は時間や場所にかかわらず、人々の心に影響さえすれば、すべての事は感動と言ってもいいと思っています。

スピーチは以上です。ご清聴ありがとうございました。



最優秀賞
おうきょう
王京
(中国出身)

ザ・フレンドシップフォース・オブ・太田・群馬が ブラジル、クリチバクラブ受入

ホームステイで世界中を旅するザ・フレンドシップフォース・オブ・太田群馬が、平成25年9月24日(月)から8日の間、ブラジルからクリチバクラブを受入れました。

ブラジルからのクラブの受入れは10年ぶりで、訪問団14人は、清水市長を表敬訪問したほか、日光で華厳の滝や東照宮を見学するなど太田での滞在を満喫したのち、次の訪問地である静岡へと旅立ちました。



太田市長表敬訪問



日光華厳の滝見学

インディアナ州児童絵画交流

姉妹都市グレイターラフィエットのある米国インディアナ州の知事が来日し、富士重工業㈱矢島工場を見学したことに伴い、同州知事夫人のカレン・ペンスさんが太田小学校を訪問しました。ペンス夫人はかつて美術教師をしており、ラフィエットの小学生が描いた自画像を、太田の小学生にも描いてもらい、絵画による交流を図りたいとの申し出があったため同校を訪問したものです。限られた時間の中、太田小の子供たちは熱心に絵を描き、思いがけない形で姉妹都市交流が実現しました。



インディアナ州知事夫人と児童ら

太田日本語教室あゆみの会受講生「世界の料理教室」

平成25年11月10日(日)、太田日本語教室あゆみの会の「世界の料理教室」が開催されました。恒例となったこの教室に、今回は10カ国66人も参加がありました。参加者の皆さんはどなたも自分たちで作った料理には自信があるようで、お店が開けるくらいのおいしそうな料理がたくさん並びました。中でも、ギョーザ風に具材を包んだ料理は中国や日本のみならずさまざまな国にもあるようで、皆さん、はじめて食べる料理もあってか、歓声が上がったり、感想を話し合ったり、にぎやかで楽しい教室となりました。

